

絵馬の中心に白馬を描いた井上さんは「バランスよく形を取るのが難しかった。写真的に描きたかった」と話します。



12月6日  
制作開始。

12/28  
SUN



12月13日 色付け始まる。

招魂社内は少し寒いけれど、熱心に絵筆を執って下絵に色を付けていく美術部の生徒たち。



12月28日 完成を喜び記念撮影。



12月26日 相談しながら最後まで仕上げていく井上さん(右)と中村さん。



12月26日 もうすぐ完成。



12月13日 次第に色が付いていく。



12月27日 見事完成！



12月28日  
設置場所に移動。

## 新春彩る巨大絵馬

大瀧神社

12月29日 ラジオ番組の生中継でインタビューを受ける穴戸さん。

大瀧神社の新年を飾る巨大絵馬。平成20年から描かれています。一昨年からその役を担うのが、大竹中学校美術部の生徒たちと卒業生です。今回も還暦を迎え令和8年の大竹祭に参加する同級生らの依頼で、干支の絵馬を制作しました。夏休みから絵馬の構想を練ったのが、美術部出身の井上珠宇さん(高1)、中村結芽さん(高3)と現部長の島田桃花さん(中3)の3人。12月6日から制作に入り、真っ白い絵馬に下絵を描き、美術部の生徒らが色付けをしました。

描き始めて3週間後の12月27日に見事完成。部長の島田さんは「神社を訪れた人が1年間いい思いで過ごせるように」と思いを込めて描きました」と絵馬を前に満足げな表情。同級生の年末会代表の穴戸達彦さん(本町)は「馬が浮き上がって見えるようだ。羊もバランスよく描かれています」と絶賛します。

指導した美術部顧問の多賀谷より子教諭は「絵馬を通じて地域の方とつながった。生徒たちは貴重な経験になったと思います」と喜びの声を。現在絵馬は境内の招魂社横に移設されています。

12月19日 谷本選手が市長表敬訪問



12/21  
SUN

カラケチ  
PART1

## 過去最大!大盛況のリレーマラソン

晴海臨海公園

今回で3回目となる『瀬戸内リレーマラソンin大竹』は、申込者数1400人超えの大盛況のイベントとなりました。オープニングセレモニーでは、ゲストに迎えた日本郵政グループ女子陸上部の谷本七星さん、『大好き大竹応援大使』のゴッホ向井さん、舞原ミキさんが会場を沸かせました。

舞原さんとのウォーミングアップを終え、いざマラソンスタート。懸命に走るランナーを亀居城太鼓の勇壮な音が鼓舞し、沿道の観客の声援が響き渡りました。



1/11  
SUN



## 吹雪にも負けない熱い消防魂

晴海臨海公園

今年の『消防出初式』は、降りしきる雪の中での開催となりましたが、消防本部や消防団、企業消防隊の勇姿を見ようと多くの来場者が訪れました。式典では、入山市長が「万に備え、訓練や準備に万全を期して市民を守ってください」と式辞を述べました。各種消防車両との行進や一斉放水訓練、新入団員の紹介なども行われ、来場者を楽しませてくれました。



①国旗に向かってピシッと整列②吹雪の中で一斉に放水③大竹小方中学校吹奏楽部の演奏④寒い日以外食べる温かいうどんおいしね。



12/21  
SUN

(右上)プレゼント交換で上野のパンダも大喜び(上)華麗な社交ダンス。

## 昭和の青春時代を振り返り

玖波公民館

現在の玖波公民館が建設された昭和49年を振り返りながら学び楽しむ『KUBA舞踏会』が催されました。最初に玖波公民館の歴史秘話、懐かしいアニメの講演と続きます。昭和のお菓子の歴史や食生活の変化などの講話の後、ダンスパーティー、プレゼント交換とクリスマス気分を満喫。参加した福中久美子さん(南栄)は「歴史も楽しく学べたし、歌ったり踊ったりできました。懐かしかったです」と当時に思いをはせていたようです。

懐かしのレコードや車のパンフレット展示。

イベントなどで撮影した写真は、「広報おおたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。

